

院長@リーダー:堤 寛のプロフィール

堤 寛 Yutaka Tsutsumi, M.D.

病理専門医#885、細胞診専門医#768

1951年 9月9日 横浜生まれ

1970年 3月 慶應義塾高等学校卒業

1976年 3月 慶應義塾大学医学部卒業(第5612号)

1980年 3月 慶應義塾大学大学院医学研究科博士課程修了

1980年 4月 東海大学医学部病理学助手

1982年 3月 医学博士(慶應義塾大学)

1986年 4月 東海大学医学部病理学講師

1988年 3月～1990年1月 米国ボストン市タフツ大学医学部病理学教室留学(臨床講師)

1992年 4月 東海大学医学部病態診断系病理学部門助教授

1993年 12月～1994年3月 国際協力事業団の専門家派遣ケニア中央医学研究所に滞在

1996年 4月～2000年3月 東海大学医学部附属病院病理診断科科长(兼任)

2001年 6月～2017年3月 藤田保健衛生大学医学部第一病理学、教授

2017年 4月～2018年3月 はるひ呼吸器病院病理診断科、病理部長

2018年 4月 つつみ病理相談所、所長(豊明市、名鉄線前後駅前)

2019年 10月 つつみ病理診断科クリニック、院長(名古屋市緑区有松)

2021年 3月 18日～ 愛知県稲沢市矢合町三吉跡 1551-1 へ、つつみ病理診断科クリニックを移転

診断業務の実務経験歴:43年

得意・専門分野:診断病理、細胞診断、感染症病理

資格:医師免許第 231619 号(1976.6)、剖検医第 3631 号(1979.9)、医学博士(慶應義塾大学大学院第 649 号、1982.3)、病理専門医第 885 号(日本病理学会、1982.3)、病理専門医研修指導医第 885 号(日本病理学会、2006.4)、病理専門医第 24-00885 号(日本専門医機構、2017.3)、細胞診専門医・指導医第 768 号(日本臨床細胞学会、1987.12)、教育研修指導医第 0274 号(日本臨床細胞学会、2015.4)、Infection Control Doctor 第1号/3586 号(日本感染症学会、2000.1、2011.1)

業績(著書関係)

2019年:クイックマスター病理学(新改訂版第2版)、サイオ出版、単著

パワーアップ問題演習 病理学(改訂版)、サイオ出版. 単著

- 2017年:メディカルエッセイ集「患者さんに顔のみえる病理医」の独り言(e-book)
第1巻:健康は生活の足元から!病気のプロのアドバイス(全63ページ)
第2巻:ヒポクラテスも知らない!～うんちく編～(全151ページ)
第3巻:あなたが受けている医療の源はココに～医学史編～(全79ページ)
第4巻:病気は不思議～医学ミニ知識編～(全115ページ)
第5巻:パーフェクトな医療は存在しない～医の諸問題編～(全125ページ)
第6巻:哀愁の病理学～病理診断編～(全51ページ)

2015年:クイックマスター病理学(新改訂版)、サイオ出版、単著

パワーアップ問題演習 病理学. サイオ出版. 単著

2013年:Pathology of Skin Infections (Nova Science Publishers, NY, USA)、
http://pathos223.com/bookintroduction/pathology_of_skin_infectious.html

2012年:患者さんに顔の見える病理医からのメッセージ

～あなたの“がん”の治し方は病理診断が決める!。三恵社. 単著

2010年:父たちの大東亜戦争. 戦地シンガポール・スマトラの意外な日々、幻冬舎ルネッサンス. 単著

2009年:DVD版 完全病理学各論(全12巻収録)学際企画. 単著

2008年:Element版 完全病理学各論. 学際企画. 単著

2007年:完全病理学各論全12巻. 学際企画. 単著

2006年:パワーアップ問題演習 病理学. 医学芸術社. 単著 新クイックマスター 病理学. 医学芸術社. 単著

2005年:完全病理学総論. 医学教育出版社. 単著

2003年:Pathology of Infectious Diseases CD-ROM English Version. HP.
単著 <http://pathos223.com/en/>

2002年:改訂四版 渡辺・中根 酵素抗体法. 学際企画. 編集、共著

2001年:病院でもらう病気で死ぬな! 現役医師が問う、日本の病院の非常識度. 角川書店.
単著

2001年:病理医があかす タチのいいがん、悪いがん. 最新診断・治療ガイド. 双葉社. 単著

2000年:感染症病理アトラス. 文光堂. 単著

<http://pathos223.com/atlas/index.htm>

学会委員等

日本病理学会(学術評議員、病理専門医、Pathology International 常任刊行委員)、日本臨床細胞学会(評議員、指導医、功労会員)、日本組織細胞化学会(評議員、編集委員)、日本感染症学会(Infection Control Doctor)、日本医学教育学会(功労会員)、医療の安全に関する研究会(常任理事)、「医と食」編集委員、「医学のあゆみ」編集協力者など

研究テーマ

病理技術(病理診断、酵素抗体法、in situ hybridization、アポトーシスの組織化学、酵素抗原法、NETs の組織化学)、
感染症の病理、乳癌の病理診断(特にアポクリン癌の重要性)、院内感染・業務感染、医療廃棄物、安全教育、医療倫理

資格・学会活動

医学博士、病理専門医、細胞診専門医、Infection Control Doctor、日本病理学会学術評議員、日本組織細胞学会評議員、
日本臨床細胞学会評議員
医療の安全に関する研究会常任理事、NPO 法人ぴあサポートわかば会監事

趣味

オーボエ演奏、医学エッセイ書き

モットー・メッセージ

- ・患者さんに顔のみえる病理医
- ・病理診断のセカンドオピニオンを受けています！
- ・他の人がやらない「穴埋め病理医」、「社会派病理医」を目指す。「日本の常識、世界の非常識」を見直す。

好きな言葉

- ①「心施」(心を込めて接すること)(仏教の教え「無財の七施」の一つ)
- ②Si bonus es,casu vivere,Sexte,potes.
もしあなたが善良なら、普通に(casual に)しか生きていけないのでしょうか。(善良なだけでは、生きぬいていけないのだよ)
- ③Teaching is learning.(教えることが最良の学習法)